

HIC通信

Vol. 118
October 2022
Hiroshima
International
Center



加計高校校舎前にて

目次

- P2 県内留学生が紹介!「私の国と日本」
- P3 お店訪問
- P4 ひろしま留学大使
- P5 事業報告
 - 交流部
広島県留学生活躍支援センター
- P9 研修部トピックス
- P10 コラム
 - Hello Hiroshima
 - イベント・講座案内
Upcoming Event News
- P11 JICAレポート
 - こちら JICA 中国



クレセントビーチにて

私の国と日本



ベトナム編

県内の留学生から母国と日本の様々な違いについて紹介してもらいます！



留学生紹介

グエン ティ フォン アンさん

初めまして、ベトナムから来たグエン ティ フォン アンと申します。現在比治山大学の言語文化学科の3年生で英語を中心に勉強しています。日本に来て4年になりました。高校を卒業した18歳の私は、世界の厳しさを知らないまま両親から離れて遠い国である日本で新生活を始めました。ベトナムも日本もアジアにある国なので文化がよく似ているとずっと考えていましたが、日本に来たら世界はそんなに甘くないとわかりました。



ベトナムの伝統料理 Bun Bo Hue

★ 天候の違い

私は体があまり強い方ではなく、季節の変わり目には、風邪を引きやすいです。私の出身地のベトナムの首都—ハノイ市にも四季があります。日本では、ハノイ市の天候とあまり変わらない街に住みたいと思い、広島市にしました。思った通り広島市とハノイ市の天候はよく似ています。もちろん、違う点もあります。広島市の冬はハノイ市より寒く、時には雪も降ります。逆にハノイ市の夏はもっと暑いです。毎年最高気温は41℃にもなります。しかし、広島市に住んで4年目になつた今ではその違いにも慣れてきました。

★ 名前の呼び方の違い

初めて出会った人と話すときに、日本人は苗字を聞いて苗字で呼びます。しかし、ベトナムでは話す時に、相手の名前を呼びます。なぜなら、ベトナムでは初めて出会った人に苗字を聞いたら失礼になるのです。そして、ベトナムでは苗字の種類が少ないため、同じ苗字を持っている人が少なくないです。インターネットの調査では、「グエン」という苗字を持っている人がベトナムの人口の31.5%を占めています。私も「グエン」という苗字を持っていて、アルバイト先で日本人の同僚に「グエンさん」とよく呼ばれていますが、「グエンさん」という店員が多いので、どの「グエンさん」か分からなくなってしまいます。それで、話す前に周りの人々に「アンかAIN（名前）で呼んでください」と言っています。

★ 生活の違い

上記のように私の生まれ育った街はベトナムの首都でハノイ市です。日本との一番大きな違いはお店の閉店時間です。ハノイ市は「眠らない街」と外国人の観光客に呼ばれているそうです。その名のとおりハノイ市の中心にあるお店は遅くまで営業していて、ベトナムの若者が夜の9時から遊びに出かけるのは普通のことです。広島市は違います。私のアルバイト先は本通りの近くにあり、初めてアルバイト先から帰ると、少しひっくりしました。夜7時ぐらいにいくつかのお店が閉店して、9時になったら、その辺りではゲームセンターを除き、全店が閉店していました。もちろん、遅くに遊びに行く若者もいますが、少ないと思います。

★ サービス業の接客の違い

初めて日本のスーパーに行ったとき、ショックを受けました。一袋のキャンディを買ったのに、レジでいくつも質問されました。「いらっしゃいませ！商品をお預かりいたします」「レジ袋をご利用なさいますか」「お箸・ストロー・スプーンはいくつご利用なさいますか」「OO点でOO円でございます」「ありがとうございました。またお越しくださいませ」。ベトナムにいたときはそんな丁寧な言葉を聞いたことがありません。「いらっしゃいませ」と「ありがとうございました」くらいでした。

★ 大学生としての生活

高校を卒業してすぐ日本に來たので、ベトナムの大学生活を詳しく知りませんが、ベトナムにいる友達のSNSから知っていることもあります。例えば、大学のサポートの違いです。私の大学ではタブレットかパソコンを持っていない学生がiPadやノートパソコンを借りることができます。パソコンを買う余裕がなかった留学生の私にとって非常にありがたかったです。

★ 最後に

ベトナム人にとって日本語は非常に難しく、言語はもちろん、日本とベトナムの文化もかなり違いますね。始めは日本語が話せなかつたので、その違いをどのように日本人に理解してもらえるかわからませんでした。その大変な時期を経験し、私は異文化を研究して日越と越英の通訳者として活躍し、日本を始め、様々な国とベトナムとの懸け橋になる夢を持つようになりました。これからも日本での体験を活かし、自分の夢を叶えるためにもっと頑張っていきたいと思います。



日本語スピーチコンテストで



広島県立加計高校での交流会

H I C 通 信

お店訪問

HIC: お店はいつ頃オープンされましたか。

Nさん: 2019年6月にオープンしました。



HIC: なぜ、この場所にお店を出されたのですか。

Nさん: 私たちは料理人と接客担当(通訳)で、日本人のオーナーがいます。出店場所等はオーナーが決めました。

HIC: いつ頃広島にこられましたか。

Nさん: 私は福岡の専門学校にいましたが、この店をオープンする時に広島にきました。料理人の彼(ダン ゴクトンさん)は、前任の料理人が急遽ベトナムに帰ることになり、代わりに3か月前(6月頃)に入店しました。

HIC: ダンさんが、このお店に入るきっかけは? また、日本に来て驚いたことや困っていることはありますか。

Dさん: 入店のきっかけは、オーナーにベトナムでスカウトされました。ベトナムでは11年間ベトナム料理人をしていました。日本に来て驚いたことは、公共交通の便利さと安全性です。困っていることは、日本(広島)に来て短いので、日本語が話せないことです。

HIC: ダンさんは日本に来てどこかに行かれましたか。

Dさん: まだどこにも行ったことはありません。本通りをブラブラしたくらいです。もう少し日本語が話せるようになってから行きます。

HIC: 店名の「ノンラー」とはどういう意味なんですか。

Nさん: 店名はオーナーが決めましたが、「ノンラー」とは、日本語ではベトナムで愛用されている三角帽子の意味です。



HIC: お店は何人で運営されていますか。

Nさん: 料理人が1名、接客担当(通訳)が2名(ただし、1日交替)、アルバイト3名で運営しています。(アルバイト3名もベトナムの留学生)



外国料理のお店や外国食材専門店などを取り上げていきたいと思います。
第3回の「お店訪問」は、
ひろしま国際センターの直ぐ側にある
ベトナム料理の「ノンラー」にお邪魔しました。

HIC: お客様の国別の割合はどのくらいですか。

Nさん: 平日は日本の方で、ほぼ100%です。逆に土曜日、日曜日は90%がベトナムの方で残り10%が日本の方です。ひろしま国際センターの方(ベトナム語通訳員)にも、よく利用してもらっています。

HIC: 食材はベトナムから輸入されているんですか。

Nさん: 多くは輸入業者を経由してベトナムから取り寄せています。もちろん日本で調達できる食材は日本のものを使っています。

HIC: お店のお勧めメニューを教えてください。

Nさん: 一番のお勧めは「特別ブンボーフェ」(古都フエの名物麺料理・辛い肉ウドン)です。麺(ブン)にベトナムのハム、豚足、牛肉が入っています。



一番お勧めの「特別ブンボーフェ」

HIC: とてもボリュームがありますね。ただ、「辛い肉ウドン」という割には、辛さもそんなに辛くなくて食べやすいですが。

Nさん: 辛いのがお好きな方は、ベトナム唐辛子やサテー(レモングラス、唐辛子、ニンニクをブレンドした調味料)を入れて、自分で辛くします。ベトナムの方は皆さん沢山入れられます。

本日は、お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。

Nさん…接客担当(通訳) Dさん…料理人(ダン ゴクトンさん)

店舗情報

Nón Lá ベトナム料理店
ノンラー

〒730-0036 広島市中区袋町5-38 山中ビル7F
営業時間: 11:00-14:00 17:00-22:00
定休日: 火曜日
連絡先: Tel 082-541-1177

料理人のダン ゴクトンさん

2022ひろしま留学大使の紹介

広島留学の魅力を留学生目線で世界に向けて発信するためのプログラム「ひろしま留学大使」のメンバー25名を紹介します！

①出身 ②大学名

Member

PHAM MINH HIEU
(ファン ミン ヒエウ)

①ベトナム
②比治山大学

趣味はK-POPとカラオケです。人と話すのが大好きなので、ひろしま留学大使としていろいろな人に出会い、コミュニケーションを取りたいと思います。

程子嘉
(ティ・シカ)

①中国
②尾道市立大学

ひろしま留学大使に就任してからは、広島の観光地や内面的な文化を世界の人々に紹介します。また、広島に住む人々には私の故郷（重慶）を紹介したいと思います。

孫伊澤
(ソン イザ)

①中国
②広島経済大学

ひろしま留学大使として取り組みたいことは、自分の周りの面白いことを記録して中国の知り合いに共有し、また、広島県内の美しい場所を探し出して写真を撮って収集帳を作ることです。

TRAN HONG QUAN
(トラン フォン クアン)

①ベトナム
②福山大学

日本文化を学び、主に日本と世界の社会問題を取り組みたいことは、研究しています。ひろしま留学大使になって、広島はもちろん、日本の魅力や特徴などを世界に紹介したいと思います。

樊玉煌
(ハン ギョウイク)

①中国
②県立広島大学

中国からの樊玉煌です。撮影や運動など好きです。広島が大好きで、この魅力を世界に広めたいので、ひろしま留学大使として頑張ります！

庄欣怡
(ショウ キンイ)

①中国
②県立広島大学

今年の4月から交換留学生として広島に来ました。広島の文化・観光など自分の肌で感じた魅力を、映画・写真・文字を通じて世界に伝えたいです。

曹澤靖
(ゾウ サワセイ)

①中国
②広島大学

曹澤靖と申します。趣味は書道とフィギュア製作です。大使として地域とつながり、色んな人と交流したいです。初心忘るべからず。

NGUYEN THI PHUONG ANH
(グエン ティ フォン アン)

①ベトナム
②比治山大学

2022年度のひろしま留学大使として、広島に留学しようか迷っているベトナム人学生を始め、世界中の学生の皆さんに広島の美しさを伝えていきたいと考えています！

楊雪
(ヨウ セツ)

①中国
②広島大学

広島に来てから5年目で、日本語教育学を中心に研究しております。ひろしま留学大使として、自分の留学経験や広島の魅力を多くの方に伝えたいと思います。

耿崧泰
(コウ ソウタイ)

①中国
②尾道市立大学

留学大使としてSNSを通して発信し、広島の素晴らしいところを世界に広げ、日本の留学生活に興味を持っている人たちに日本の留学生活を知ってもらいたいです！

HAUNA HANIN AZKA SUBAGYO
(ハウナ ハニン アズカ スバゴ)

①インドネシア
②広島大学

インドネシア出身の学部の留学生です。ひろしま留学大使に参加することで広島にいる留学生たちと交流できる機会を増やしていくみたいです。

王鑫
(オウシン)

①中国
②広島YMCA 専門学校

私の趣味は運動することです。留学大使という活動を通じてもっと多くの友達と知り合いたいです。また、皆さんと自分の留学生活を分かち合いたいです。

丁秀玉
(ティ・シュウギョク)

①中国
②広島大学

広島に住んでよかったことです。悩んだ時の経験等を多くの人々に伝えたいです。大使の活動を通じて、広島、留学生への理解を深めていきたいです。

王其其
(オウ キキ)

①中国
②広島修道大学

広島修道大学・健康栄養学科4年生の王其其です。中国の河北省から來ました。ひろしま留学大使として自分らしく広島と留学の魅力を世界に発信したいと思います！

王元貞
(オウ ジンシン)

①中国
②広島大学

日本へ留学し、4年目になります。日本へ留学したい学生に自分の経験や留学生の視点から見ている日本の大学院について紹介したいです。

Nguyen Quynh Trang
(グエン クイン チャン)

①ベトナム
②比治山大学

ひろしま留学大使として母国や色々な国々の人間に広島の魅力を発信したいです。また素敵な留学期間を作りたいと思います。よろしくお願いします。

孫銳
(ソン エイ)

①中国
②県立広島大学

こんにちは、県立広島大学一年生の孫銳です。中国の遼寧省出身で、運動と風景鑑賞が好きです。大使として、これからは世界に広島の魅力をよく伝えたいです。

NGUYEN THI LUU
(グエン ティ ルウ)

①ベトナム
②広島経済大学

ひろしま留学大使に選ばれて、とても嬉しいです！これからひろしま留学大使としてより多くの人に広島の魅力的を伝えるために頑張ろうと思います。

常海
(ジョウカイ)

①中国
②広島国際学院 大学

出身は中国の遼寧省瀋陽市です。5年前の春に、広島へ参りました。若いうちに知識や学歴を高めたいです。なので日本へ留学しました。

屈帥帥
(クツスイイ)

①中国
②広島大学

趣味は旅行です。旅行を通じて、日本と中国の魅力を発見し、配信し、両国の民間交流に役に立ちたいです。

Nguyen
Khanh Quynh
(グエン カイン ヴン)



- ①ベトナム
②広島大学

Dental student at University of Medicine and Pharmacy at Ho Chi Minh City, Vietnam and Hiroshima University, Japan under the program International Dental Course. To express my gratitude towards the two institutions for creating this program, I joined Hiroshima Study Abroad Ambassador.

Eka
Lutfi Septiani
(エカルトイ ルフィ セプティアニ)



- ①インドネシア
②広島大学

I'm keen on sharing my experiences and telling others about the positive environment and high learning standards that we have in Hiroshima. I want to contribute to a chance for solving a problem which relates to my background knowledge.

OUCH
Sreypouv
(ウツチ スレイパウ)



- ①カンボジア
②広島大学

Exploring new perspectives and dealing with challenges either in Academic or community captured my interest. I am thinking of the collaboration of diverse members of the HSAA family working together on the project of helping community issues as the means of need from the community.

Pothmitiyage Dona
Shashika Jeevanie
(ポタミティヤゲ ドーナ
シャシカ ジーヴニ)



- ①スリランカ
②広島大学

As an International Student Ambassador, I intend to disseminate information regarding matters about student life in Higashihiroshima to current international students and potential international students.

Jason
Dumaguine Braga
(ジェイソン デュマギン
ブラガ)



As a Hiroshima Study Abroad Ambassador, I want to raise awareness and interest in what it is like to study in Hiroshima and inspire prospective students to engage in diverse and inclusive learning experiences.

事業報告

Activity Report

交流部



Report 1 令和4年度 奨学生決定通知書授与式・第1回奨学生交流会を開催しました

外国人留学生に対する奨学生決定通知書授与式・第1回奨学生交流会を7月20日(水), ホテルセンチュリー21広島にて開催しました。今回は企業協力留学生奨学生37名, 県民支援留学生奨学生2名, センター留学生奨学生4名, 渡日等留学生支援に係る奨学生17名の計60名に奨学生を授与しました。授与式では, ご協力企業・団体から奨学生に直接, 決定通知書が手渡されました。また, 長年奨学生事業のためにご支援いただいている3企業・団体に感謝の意を表し, 感謝状が贈呈されました。

続いて行われた交流会では, 奨学生と企業・団体が懇談し, 名刺交換を行うなど改めて支援に対するお礼を伝えていました。ご寄付をいただきました企業・団体・県民の皆様, 誠にありがとうございました。



連続協力企業 30年 株式会社中電工 20年 一般財団法人多山報恩会 株式会社プローバホールディングス

令和4年度 企業等協力奨学生支援企業・団体 (敬称略 口数順／50音順)

マツダ株式会社	一般財団法人多山報恩会	医療法人社団ヤマナ会	株式会社あじかん	株式会社アスティ
株式会社ウッドワン	オタフクホールディングス株式会社	株式会社シンギ	株式会社第一学習社	株式会社中国新聞社
中国電力株式会社	株式会社中電工	西川ゴム工業株式会社	広島ガス株式会社	株式会社広島銀行
一般財団法人広島国際文化財団	広島信用金庫	広島電鉄株式会社	株式会社広島東洋カープ	株式会社プローバホールディングス
株式会社マツダE&T	マツダエース株式会社	マツダロジスティクス株式会社	三島食品株式会社	株式会社もみじ銀行
株式会社モルテン	株式会社いとや	国際ソロップチミスト広島	一般社団法人広島県医師会	株式会社福屋
株式会社中国放送	株式会社テレビ新広島	広島テレビ放送株式会社	株式会社広島ホームテレビ	

交流部



Report 2 グローバルキャリアセミナー(第1回)を開催しました

グローバルキャリアセミナーは、主に広島県内の学生を対象に（一般の方も参加可），国際関係の仕事に携わる方を講師に迎え、仕事の体験談や、国際関係の仕事に就くための秘訣を語っていただくもので、本年度第1回のセミナーを7月3日（日）にオンラインで開催しました。1回目は、国連軍縮部の池田有紀美さんと国連事務局本部の異万里子さんにご講演いただき、広島県内の高校生や大学生を中心に47名の方が参加されました。

国連の仕事について詳しくお話し下さいました他、講師のお二人の学生時代のお話や仕事の経験談を基に、参加者へ具体的なアドバイスを送ってください、寄せられた質問にも多くお答えいただきました。講師の皆様、ありがとうございました。



• Activity Report •

交流部



Report 3 「令和4年度 ひろしま国際交流サミット総会・講演会」を開催

8月3日（水）に「令和4年度 ひろしま国際交流サミット総会及び講演会」を開催しました。

この「ひろしま国際交流サミット」は、多文化共生社会支援事業の一環として、広島県内の国際交流・協力団体やNGO・ボランティアグループ等の情報交換・活動促進と相互連携を図ることを目的として、平成元年（1989年）11月に結成し運営しているものです。

当初は3年ぶりに総会後の親睦会を開催し、サミット会員間の懇親および情報交換会を実施する予定でしたが、残念ながら新型コロナウイルス感染の再拡大にともない、親睦会を中止するとともに総会・講演会もハイブリットによる開催にしました。今回の講演会では広島フィルム・コミッションの西崎智子氏をお迎えし、「広島の国際的な魅力」～ロケ地広島・映画誘致の現場より～と題して、ご講演いただきました。

また、西崎智子氏は第94回アカデミー賞国際長編映画賞を受賞した『ドライブ・マイ・カー』を初め、近作では『孤狼の血 LEVEL2』『映画 太陽の子』『吟ずる者たち』など、広島に多くの映画ロケ地を誘致されており、世界から見た広島の魅力や誘致でのエピソードや苦労話を交えてお話をいただきました。



ひろしま国際交流サミット総会



西崎智子氏講演会

交流部



Report 4 医療通訳(新規)ボランティア養成研修を開催しました

新たにHIC医療通訳ボランティアの登録を希望する方を対象とした、新規養成研修を7月に開催しました。

研修には15名の方が参加され、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら対面式で行いました。1日約6時間の研修を4日間行い、前半2日間は講義、後半2日間は実践（通訳トレーニング）という大変ハードなものでしたが、参加者の皆様には最後まで大変熱心にご受講いただきました。

最終日には模擬通訳試験と面接を行い、9名の方が合格され、HIC医療通訳ボランティア登録者数は122名となりました。（2022.9.1現在）

医療通訳は正確性を重視しながらも、通訳倫理を守った臨機応変な対応を求められます。そのため、ボランティア登録後も医療知識の学習や通訳技術の向上、通訳倫理の定着を目的としたスキルアップ研修にご参加いただきます。

大変ありがたいことに、多くの方から次回の養成研修開催へのお問合せをいただいております。開催が決定しましたら、ひろしま国際センターのホームページでご案内させていただきます。



実施日	内 容
7月 9日（土）	医療通訳の倫理・心得、対人援助知識、医療制度・医療費の知識 など
7月10日（日）	多文化知識の基礎、用語知識・病気の知識・解説 など
7月16日（土）	通訳技術知識、通訳技術訓練法、模擬通訳
7月17日（日）	模擬通訳、選考

交流部



Report 5 オンライン韓国料理教室

7/23（土）に「オンライン韓国料理教室」を開催しました。

参加者は、広島県の人に限らず、県外・韓国からの参加もあり、7組13名でした。

韓国出身の広島県国際交流員・權 賢珍（クォン・ヒョンジン）さんが講師となり、韓国の伝統料理4品（チャプチエ、トッカルビ、サンゾク、ドンチミ）をオンライン上で一緒に作りました。

調理後は、参加者みんなでご飯を食べながら、韓国と日本のそれぞれの食生活・文化や流行りなど色々なことをお話ししながら交流しました！県・国境を越えて、子どもから大人まで幅広い人と触れ合えることのできるイベントとなり、料理を通じて異文化交流することができました。

これからも様々な国のあるところを知ってもらうためのイベントを企画してまいります！！！



チャプチエ

交流部



Report 6 「HICキッズセミナー」を開催しました！

8/27（土）に、ひろしま国際センターにて、親子で参加できる子ども向けイベント「HICキッズセミナー～世界の国を知ろう！～」を開催しました。

元JICA青年海外協力隊員として活躍された、花岡早織さん（ラオス）、服部美樹子さん（フィリピン）をお招きし、それぞれの派遣国について紹介していただきました。

日本とは全く違う文化・食べ物・言語・生活の様子などの話に、子どもたちは興味津々で聴いていました。また、クイズや塗り絵などもを行い、家族みんなで意見を言い合いながら、笑顔で楽しく勉強している姿が印象的でした！

終了後、「実体験を交えたお話で身近に感じることができた」「外国の本を見て色々なことを知りたくなった」などのご意見をいただき、普段勉強では知らない国の大魅力を知っていただく機会となりました。

今後も、海外の大魅力を発信し、異文化交流を通して、楽しく学んでいただけるイベントを企画してまいります！



ラオスのお話（花岡さん）



フィリピンのお話（服部さん）

留学生活支援センター



Report 7 外国人留学生・教職員向け「オンライン大学進学説明会」を開催しました！

9月2日（金）および9月5日（月）に、「オンライン大学進学説明会」を開催しました。これは、大学や大学院に進学を考えている、主に日本語学校の留学生や教職員を対象とした説明会で、昨年に引き続きオンラインで実施しました。1日目は広島県内の国公立大学5校、2日目は私立大学4校が参加し、各大学は30分ずつ、大学紹介や入試情報・奨学金制度など、大学のPRを行いました。いくつかの大学では、在学中の留学生が登場し、大学を選んだ理由、現在学んでいること、学生生活や後輩に向けてのメッセージなど、自身の経験をたくさん語ってくれました。

県外の日本語学校教職員の方や国外からもご参加ください、広島県の大学の大魅力を感じていただけたのではないかと思います。

この説明会の様子については、当センターのYouTubeにて配信しております。どの大学の説明も魅力あふれる内容です。ぜひご覧ください！！



<https://bit.ly/3TuBfw0>



広島修道大学の説明会の様子



福山市立大学の留学生 呂博軒さん

• Activity Report •

留学生活躍支援センター



Report 8 留学生交流会 in 内海町を開催しました!

8月23日（火）に、福山市内海町で、福山市、福山まるごと体験推進協議会のみなさんのご協力の下、留学生と地元の方との交流会を実施しました。県内の留学生14か国26名に参加していただきました。

午前は、地元の方から内海町の歴史や魅力のお話しをお聞きし、昼食は地元のお魚を使った煮付け定食をいただきました。午後は、クレセントビーチに移動して、地元のインストラクターの方からシーカヤックの乗り方を教わり、一緒にカヤックを楽しみました。

参加者からは、コロナ禍で普段家や学校の行き来しかないが、今回のイベントで普段行けないところに行けて楽しかった。初めてシーカヤックに乗れて、色々な国の人と話せて新しい友達も出来て嬉しかった、との声がありました。

開催に向けてご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



シーカヤック体験



クレセントビーチにて

留学生活躍支援センター



Report 9 留学生と加計高校生との交流会を開催しました!

7月13日（水）に広島県立加計高等学校で文化交流会がありました。加計高校の生徒約100名と県内留学生11か国25名が参加しました。

まず代表留学生7名による歌や踊り、楽器の演奏などで母国紹介をし、高校生からは琴の演奏、お茶体験やかき氷等のミニ縁日のおもてなしをしていただきました。参加留学生はそうめんの試食をしたり、浴衣体験や射的、ゲーム等を高校生と楽しみました。

交流会後、「皆さんのが優しくてとても楽しかった。またぜひ参加したい。」との声がありました。加計高校の皆様の温かいおもてなしに感謝するとともに、参加していただいた留学生の皆さんありがとうございました！



ミニ縁日のゲームを高校生と楽しむ



茶道部のお茶体験

留学生活躍支援センター



Report 10 留学生交流イベント(8/29安芸高田ツアー)

「合同会社ひとむすび」とコラボし、安芸高田ツアーオーを開催しました！参加者は広島県内の留学生15名で、内2名は英語通訳として活躍してくれました。

「イニアビ農園」では自然栽培についてのお話を伺ったあと、畑で実際に種まきをしたり、そこで育てているいろいろな野菜についてのお話を聴いたりしました！体験後の農園の方との交流では自然栽培についての質問や自国との違いなどについての発言が飛び交い、とても盛り上りました。

午後は日本の昔ながらの町並みを再現した施設「神楽門前湯治村」へ行き、地域貢献の一環として周辺のゴミ拾いをしながら散策をしました。神楽資料館で展示してある衣装やお面を興味深そうに見学したり、町並みの写真を撮ったりしながら自由に散策を楽しみました。

イニアビ農園の皆さん、ひとむすびの皆さん、参加してくれた留学生の皆さん、通訳をしてくれたAdriani Mutmainnahさん、曾敏さん、どうもありがとうございました！



イニアビ農園の皆さんと



種まき体験

Hiroshima International Center TOPICS

研修部トピックス



その1 金光学園を学校訪問【JICAからの受託事業】

7月15日（金）に、JICA研修員16名が岡山県の金光学園中学・高等学校を訪問しました。

コロナ禍で来日した研修員。中には初めて県外に行くという研修生もいて、道中早くもみんなのワクワクが伝わってきます。

学校に到着すると、研修生を迎える中学3年生の4つの教室の黒板はどれも研修員を歓迎する絵や言葉でにぎやかに飾られており、さっそく日本の遊びや文化を紹介する交流が始まりました。研修員は、空手の実技を見せてもらったり、三味線を教えてもらったりしました。逆に、研修員が自分の国の遊びを教えて生徒と一緒にやってみるグループもありました。



初めての三味線。うまく音が出るかな？

ひろしま国際センター研修部で、今夏に実施したプログラム・取組みをご紹介します。プログラムの実施にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止策を適切に講じています。

午後からは、研修員がそれぞれ高校1・2年生の前でお国紹介をし、その後は、小グループに分かれての交流です。生徒から将来なりたい職業について聞いたり、お国での研修員の仕事について話したりしました。最後に、合唱部によるミニコンサートを楽しみ、研修員は大満足で学校訪問を終えました。



カンボジアのソペックさんは、男子から大人気でした。みんなでポーズ！

その2 MASUOKA日本語コース 就業前研修～キルギス人研修員のイサバイさん～【株式会社増岡組からの受託事業】

キルギスの大学で土木工学を専攻し、修士課程を修了され、株式会社増岡組に採用されたイサバイさんに対して、就業に必要となる日本語能力を向上させるための研修を実施しています。

イサバイさんは、キルギスで日本語講座を1年半受講し、増岡組に採用された後、コロナ禍による度重なる渡航順延を経て、やっとの思いで来日されました。

本研修は、8月3日～11月2日の3か月間、ひろしま国際プラザで生活しながら、日本語の基礎力、日本の文化・歴史、さらに、増岡組による土木の専門知識に関する講義を受けていただくものとなっています。



土木に関する専門講義受講の様子

8月19日には、イサバイさんが日本で生活していく中で、自国を紹介する機会が多くあると考え、増岡組の専門講義受講後に、日本語で増岡組の方々にキルギスを紹介する機会を設けました。イサバイさんが伝統料理の献立を考え、増岡組の方々と一緒に調理をしました。食後には、キルギスの伝統楽器のKomuz（コムズ）の演奏と歌唱を披露しました。一方的に学ぶだけではなく、相互理解を促進するという意味でも大変有意義な講義となっています。



左上：クルダック（キルギスの肉じゃが）
左下：ベシュバルマク（キルギスのパスタ料理）



増岡組の方々と調理を楽しむ様子



キルギスの伝統楽器Komuz（コムズ）の演奏と歌唱を披露

Hello Hiroshima

Vol.118 October 2022



Hello Hiroshima! Aya here!

Aya

(Hiroshima Prefectural Coordinator
for International Relations)

I hope you all are doing well. By the time you are reading this, the weather will already be nice and cool, and the chestnut-flavored everything will be hitting the shelves. いいな。

This time, I would like to gush about my little sister, Amu-chan. She is eight years old, half-Japanese, growing up in the US, and can't speak any Japanese, just like me when I was her age. Despite (or maybe due to) the age difference, we are incredibly close.

To my absolute delight, with Japan's border restrictions slowly loosening, she was finally able to visit Japan this summer, for the first time in 4 years.

First we spent time with our grandparents in Kanagawa-ken. We ate my baachan's amazing home-cooking, tried on a beautiful yukata handmade for us by our baachan, and drove down to a seaside onsen hotel in Atami. Next we went to Universal Studios, where she rode her first rollercoaster ever, and proudly told everyone around us that she was a Hufflepuff. Last but not least we came to Hiroshima, where she got to go to eat her first ever kakigori (it blew her mind; refer to the photo), get an omikuji, take purikura and all other kinds of Japanese firsts.

Watching her absorb everything with such wonder during the trip made me feel like I was watching my younger self during my childhood trips to Japan. I still remember my deep feeling of connection, nostalgia, and love for Japan, which would flood over me every visit. Those trips allowed me to bond with my dad's family and Japanese heritage, and became highly formative experiences for me. I'm convinced without them, I wouldn't have learned Japanese or be here living and working in Japan today. While I don't want to pressure my little sister to take the same path that I did, it was such a pleasure to see her enjoying this trip. No matter whether she ultimately chooses to learn Japanese or live in Japan, I hope these experiences give her a deep feeling of connection and identity, and become precious memories for her, like my childhood trips to Japan are for me.



Upcoming

E v e n t N e w s



ユニセフチャリティウォーク 「平和記念公園慰靈碑オリエンテーリング」

爽やかな秋の一日、キーワードを探しながら平和記念公園の慰靈碑を巡って歩いてみませんか？ 参加費はユニセフ募金として、途上国の子どもたちの支援のために使われます。

日 10月29日(土) 時 10:30~12:30(少雨決行)

場 広島平和記念公園

広島平和記念資料館本館下へ10時15分までに集合してください。

定 30名

費 300円(18歳以上) 18歳未満は無料。参加費はユニセフ募金となります。

問 広島県ユニセフ協会 担当者：高田 和美 Tel : 082-231-8855

mail : unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp

東広島国際フェスタ2022

今年は「世界の踊り」をテーマに、やぐらのステージで様々な国の人踊りを披露します。

ステージの周りで、一緒に踊って頂くことも出来ます♪

また、国際関係団体等の出展や出店、飲食の実演販売もあります。是非、お誘い合わせの上、ご来場ください。

日 11月6日(日) 時 10:00~15:00(予定)

場 西条中央公園(グラウンド側)

定 なし 費 無料

問 東広島国際課推進協議会 担当者：佐々木 Tel : 082-420-0922

mail : hgh200922@city.higashihiroshima.lg.jp

※新型コロナウィルスの感染状況によっては、イベントが延期又は中止になる場合があります。事前に主催者に確認してください。

JICA海外協力隊

広島から世界へ！いつか世界を変える力になる！

広島から世界へ！現在(2022年9月1日時点)、広島県出身のJICA海外協力隊16名が世界で活躍しています！



<JICA海外協力隊>

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい！」という強い意欲を持つ20歳～69歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティア事業です。

派遣は原則2年間。衣食住を現地の人とともにしながら、互いに理解を深め、同じ目線で途上国の課題解決に取り組みます。また、帰国後も現地での経験を日本の地域や世界の発展に役立てることが期待されています。

そんな草の根レベルのボランティアに、あなたも参加してみませんか？

2022年11月1日(火)～2022年12月12日(月)正午まで



JICA海外協力隊の秋募集が始まります！

募集に先駆け、広島からJICA海外協力隊としてウズベキスタンで活動した田口さんにインタビューをしました。



田口 実佳さん

派遣国：ウズベキスタン

職種：保健師

派遣時期：2015年～2017年

協力隊概要：地方の診療所で看護師を対象にした看護教育のセミナーの実施や、地域住民の健康増進、特に生活習慣病予防に関して知識を深め実践できるように家庭訪問等を通じた啓発活動を行いました。

活動について田口さんから一言

ウズベキスタンはメタボの人が多く、診療所では肥満対策として、毎日、住民と一緒に運動していました。とても親日国で「お茶でも飲んでいいください」、「ご飯食べにいらっしゃい」などなど、たくさんの場所で温かく迎えていたことがとても印象に残っています。

現地の人々の生活に溶け込んで一緒に活動していく協力隊ですが、コミュニケーションで心掛けたことは？

困ったことがあつたら、迷わず活動先の人々にすぐ相談して助けてもらうようにしていました。

現地で困ったことや苦労したことありましたか？

活動先の人たちとの「時間や約束を守る」感覚の違いに悩みました。約束の時間に来ないことはよくありました。そこはしょうがないと受け入れ、逆に相手の得意なところを見つけて活動に取り組みました。

協力隊経験が帰国後にも活かされていると感じたことはありますか？

相手とコミュニケーションを取る時に、言葉に頼りすぎないようにしたことです。配属先の診療所の方々が、患者さんの表情を見て伝えたいことを読み取っていて、そんな診察の仕方があるのかと知って驚き、帰国後は自分も表情から相手の気持ちを読み取れるよう、がんばっています。

モンゴル × 保健医療支援 × JICA
草の根技術協力事業(広島県)

今年は日本とモンゴルが1972年に外交関係を樹立して50周年を迎えます。このような機会に、モンゴルで、広島県・NPO法人総合遠隔医療支援機構とJICAが草の根技術協力事業を通じて2018年から2022年まで実施した事業について、プロジェクトマネージャーを務めた井内先生とともに紹介したいと思います。

実施した事業では、モンゴル国内で鉱山労働者に多い塵肺症と、一般の住宅のなかでも保温のために使われている石綿（アスベスト）への曝露による中皮腫や石綿肺などの呼吸器疾患について、モンゴルの国立第3病院と国立病理センターと協働して、モンゴルと広島で研修を開催し、内科医、画像診断を担当する放射線科医、病理診断を担当する病理医の早期診断能力向上を図りました。さらに、持続的な彼らの診断の支援を可能にするインターネットを用いた遠隔診断システムを導入する取組みを行いました。

このモンゴルでの事業を井内先生が計画した理由は、以前から呼吸器疾患分野に携わるモンゴルの医師との交流があり、鉱山業が中心のモンゴルの産業や生活の実態から多くの患者が潜在的に存在すると予想されるものの、診断・治療を受けていない人々が多いためでした。

研修には、モンゴルに住む放射線科医約300名および病理医約60名の大半が、ワランバートルで開催した講演に参加し、そのうち約50名が広島大学病院をはじめとする広島の専門病院での実地研修を受け、その診断能力の向上がはかられたとともに、広島の人々との交流によって相互の国情や医療の状況への理解が深りました。

ワランバートルと広島の間の放射線画像診断と病理診断の遠隔診断システムを導入することが出来たことから、今後は、これを有効に使ってモンゴルの医師の能力がさらに向上することが期待されています。

広島の霞クリニックでの研修風景
©NPO法人総合遠隔医療支援機構

Profile

NPO法人総合遠隔医療支援機構 理事長

井内 康輝 草の根技術協力事業

プロジェクトマネージャー

病理医、広島大学名誉教授。2012年に同NPO法人を広島市内に設立。民間の病理診断機関や画像診断サービス会社と県内各地の病院によるネットワークづくり、遠隔医療の普及活動を展開。

モンゴルにまつわるエピソード

モンゴルでは、羊肉の入った大きなヨーザや肉まん風の料理、麺料理が美味しいですが、羊肉中心の食生活が彼らの筋肉質の体格を作ることに貢献しているようです。大相撲の世界で多くのモンゴル出身の力士が活躍していることに納得できます。

JICA草の根技術協力事業

年1回の公募により、団体からの事業提案を募集しています。

詳しくはこちら▶

モンゴルでの
皇帝と武官の衣装を着用
©NPO法人総合遠隔医療支援機構

「グローバルリレーションズ・プログラム(GRP)」参加者の声

ニコラス ベノワ
HIC article: Nicholas J. Benoitさん (アメリカ合衆国)

The Global Relations Program (GRP) has greatly improved my student life over the past year. I have found countless friends, acquaintances, and created many memories. If you are looking for a fun and comfortable way to be a student, the Global Relations Program is the best way to achieve that in Hiroshima.

For one year I have been a member of GRP as a trainee living in Hiroshima International Plaza. I applied to GRP, so I could volunteer for different international events and create new friendships. By one month, I had happily achieved both of those goals. I achieved them through volunteering as a GRP trainee at English summer camps for kids, international exchanges with high school students, visiting a local elementary school, and others.

Beyond volunteering, the facilities at Hiroshima International Plaza have allowed me to become

the best of friends with other GRP trainees. I made friends by cooking together, playing sports in the gymnasium, and even going on local trips together. Perhaps my strongest memory was made on a February day. In the morning, we started walking in the snowfall at the local park. During the afternoon, we returned to bake a cake at the shared kitchen. Finally, we celebrated a birthday in the evening. Of course, joining an international community and volunteering for events is difficult. However, the art of having an open mind and being an open person are invaluable to learn. As a GRP trainee, your student life will be wonderful, and you can learn both of those things.

Sadly, my time as a GRP trainee has come to close, and I wish everyone the best of luck. Thank you for the amazing memories.



グローバルリレーションズ・
プログラム(GRP)とは?

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的にした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、8ヶ国17人の留学生が参画しています。

そのほか、レジデントアシスタントの日本人学生2名が入居し、彼らを支援しています。

★入居使用料

1泊800円 管理費2,550円／月

月額24,950円～27,350円(水道光熱費込み)

★毎年、春と秋に入居者を募集しています。募集の際には「ひろしま国際プラザ」のHPに掲載します。

11/3(木・祝)に「HIC世界体験デー」を開催します!

11月3日(木・祝)に、異文化を体験することができる「HIC世界体験デー」を開催します!

お子さまから大人の方まで、日本人も外国人も一緒に楽しんでいただける国際交流イベントです。普段はなかなか話す機会がない外国人と交流してみませんか? 外国の遊びや、その国にちなんだワークショップ、外国人とのおしゃべり会、世界の音楽や踊りなどを楽しめる催しを予定しています。ぜひHICに世界の文化を体験しに来てください!!

日 時 11月3日(木・祝) 10:00～16:00

参 加 費 無料

会 場 ひろしま国際センター

申し込みは
こちらから

- ご都合の
よい時間で
お申込み
ください
- ①10:00～12:00
 - ②12:00～14:00
 - ③14:00～16:00



※新型コロナ対策として、ご参加については事前予約制とさせていただきます。



交流部&留学生活支援センター

〒730-0037
広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F
TEL.(082)541-3777 FAX.(082)243-2001
E-mail／hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

月～金 10:00～19:00 土 9:30～18:00
日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。



研修部(ひろしま国際プラザ)

〒739-0046
東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL.(082)421-5900 FAX.(082)421-5751
E-mail／hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

[情報センター・図書室]
月～金 10:30～12:30, 13:30～19:00
(12:30～13:30閉室)
土・祝日 10:30～19:00

※日曜および年末年始
(12/29～1/3)はお休みです。

※その他、臨時休室の場合は、

HPで随時お知らせします。

※NGO交流室は休室中です。

